

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	流山花火大会支援事業			会計	款	項目	大	小
政策	05	5節	賑わいと活気に満ちた流山（産業の振興）	主管課	流山本町・利根運河ツーリズム推進課			
施策	5-5	特色ある観光の育成と創設		主管課長	井戸 一郎			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	全市民、市外の観光客	意図	流山市民の郷土愛の育成やコミュニティの場の創出と観光資源として定着を図る。
事業内容	流山花火大会実行委員会が開催する花火大会に対し、その開催にかかる経費の一部を助成する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成18年度から三郷市との同日開催、有料観覧席設置、シャトルバス運行を実施、平成19年度からインターネット及びコンビニによるチケット販売を実施。平成23年度は有料駐車場設置、東日本復興支援としてメッセージ花火や義援金募金を行った。平成24年度は市制施行45周年の記念事業として開催。平成28年度は市制施行50周年と花火大会40周年の記念事業として、花火の充実（打上げ発数1,000発増及びスカイミュージカルの充実）を図った。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	流山花火大会来場者数	107,000	115,000	170,000	人	↑↑↑
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果

目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
 流山花火大会自体の認識度も向上したこと、平成19年度からのインターネット、コンビニによる有料観覧席を販売したこと、並びに平成25年度は、山手線内のディスプレイに広告を行った影響もあり来場者数が大幅に伸びた。一方で、近年、会場としての範囲いっばいの来場者となっており、警備体制など安全性の確保に課題が残る。平成29年度は、江戸川上流での降水による河川の水位上昇により、翌日に延期したことから来場者の伸びが弱かった。平成30年度は日程どおりの開催となり、来場者数が大きく伸びた。

事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事務事業の総コスト(a=b+c)	6,154,490	6,151,430	6,149,590
事業費(b)(円)	6,000,000	6,000,000	6,000,000
うち一般財源	6,000,000	6,000,000	6,000,000
職員給与費(c)(円)	154,490	151,430	149,590
人役・職員(人)	0.02	0.02	0.02
人役・再任用(人)			
人役・臨職(人)	0.01	0.01	0.01
人役・嘱託(人)			
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）			
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	来場者に対する安全性の確保と収益性の確保を図る。	③取組における課題(Check)	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な大会運営 開催時期の検討
②H30に実施した取組(Do)	<ul style="list-style-type: none"> 大会の更なる動力アップを図るため、三郷花火大会との花火打上げ演出を行った。 有料観覧席を増やし、収益の確保を図った。 	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	<ul style="list-style-type: none"> 警察・消防との連携強化 開催時期（季節・曜日）の検討を三郷市と協議